

種子食用カボチャ新品種「ゴールデンライト」栽培導入試験

和寒町農業活性化センター

1 目的

新品種「ゴールデンライト」における適正定植時期（播種時期）及び従来品種「ストライプペポ」との優位性について検討する。

2 協力機関

北海道拓殖短期大学

3 耕種概要

土壌型	土性	排水性の 良否	前作物	土壌分析結果					
				PH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	熱水抽出窒素
灰色低地土	埴壤土	並	キャベツ	6.0	0.10	90.3	47.8	55.7	12.1

施肥 施肥日	施用量 (kg/10a)		
	窒素	りん酸	カリ
5月7日	3	0	5

病虫害防除、（項目：薬剤名）	
殺虫剤	殺菌剤
6/26～アグロスリン	
8/1～アグロスリン	8/1～園芸用ボルドー

栽植密度：畝幅 300cm 株間 35cm

4 試験方法

(1)面積・区制

品種・区名	播種月日	定植月日	収穫月日
ゴールデンライト①	5月1日	5月15日	
ゴールデンライト②	5月8日	5月22日	
ゴールデンライト③	5月15日	5月29日	9月24日
ゴールデンライト④	5月22日	6月5日	
ストライプペポ	5月15日	5月29日	

5 結果の概要と考察

- (1) 定植 30 日目調査では、ゴールデンライトは定植時期がストライプ遅い区ほどつる長が長く、葉数も多くなる傾向が見られた。ストライプペポは、同時期定植のゴールデンライトと比較してつる長は長く（約 2.6 倍）、葉数も約 2 枚優った。
- (2) 7 月 14 日調査では、定植時期が早いほどつる長の生育が優る傾向にあった。ストライプペポは、2 週間早いゴールデンライトと同等のつる長であった。

- (3) ゴールデンライトの開花数は、定植時期が早いほど多くなるが、着果に至る個数はほぼ変わらなかった。特に、6月までの開花は受粉後に落果する傾向があり、7月上旬及び7月中旬に開花した花の着果率が高かった。
- (4) 株あたりの成熟果数は、ゴールデンライトで2個弱と定植時期による差は判然としなかった。ストライプペポは、1.4果とゴールデンライトより少なかった。
- (5) 収穫時の生総重量は、ゴールデンライト②>ゴールデンライト①>ゴールデンライト③>ゴールデンライト④>ストライプペポの順であった。成熟した果実では、ストライプペポが最も重く、成熟割合も高かった。
- (6) 子実の製品重量は、ストライプペポ>ゴールデンライト②>ゴールデンライト①>ゴールデンライト③>ゴールデンライト④で高かった。製品割合も重量と正の相関が見られた。
- (7) 規格外は、腐敗果及び子実の発芽粒やもやし状までの発芽粒が多く発生した。収穫時期の遅れ及び収穫後の調整作業の遅れに起因すると考えられるが、品種間ではゴールデンライトの発芽割合が高い傾向であった。
- (8) 100粒重は、ストライプペポ>ゴールデンライト②>ゴールデンライト③>ゴールデンライト④>ゴールデンライト①の順となり、ストライプペポの一回り小粒な品種であった。

(9) (2) 6 具体的データ

生育調査（つる長と葉数）

区名	定植30日目調査		7月14日調査
	つる長(cm)	葉数(枚)	つる長(cm)
ゴールデンライト① 播種5/1 定植5/15 収穫9/24	17.8	10.8	188.2
ゴールデンライト② 播種5/8 定植5/22 収穫9/24	26.7	12.8	132.1
ゴールデンライト③ 播種5/15 定植5/29 収穫9/24	51.0	14.9	117.0
ゴールデンライト④ 播種5/22 定植6/5 収穫9/24	78.5	16.7	103.3
ストライプペポ 播種5/15 定植5/29 収穫9/24	133.0	16.0	188.2

開花数と着果との関係（10株当たり）

区名	開花総数		
	(個)	着果数(個)	着果率(%)
ゴールデンライト①	73	23	31.5
ゴールデンライト②	41	24	58.5
ゴールデンライト③	38	25	65.8
ゴールデンライト④	29	22	75.9
ストライプペポ	31	15	48.4

区名	品種名	播種日	定植日	収穫日	株あたり		10a当たり			
					総個数	成熟個数	収穫重量	成熟重量	未熟重量	成熟割合
1区					2.6	2.0	6,965.7	5,335.2	1,630.5	76.6%
8区					2.0	1.6	6,040.0	4,902.9	1,137.1	81.2%
平均	ゴールデンライト	播種5/1	定植5/15	収穫9/24	2.3	1.8	6,502.9	5,119.0	1,383.8	78.7%
2区					2.2	1.4	6,396.2	4,348.6	2,047.6	68.0%
9区					2.6	2.2	7,030.5	6,112.4	918.1	86.9%
平均	ゴールデンライト	播種5/8	定植5/22	収穫9/24	2.4	1.8	6,713.3	5,230.5	1,482.9	77.9%
3区					3.0	1.8	6,521.9	4,173.3	2,348.6	64.0%
10区					2.0	1.8	6,017.1	5,245.7	771.4	87.2%
平均	ゴールデンライト	播種5/15	定植5/29	収穫9/24	2.5	1.8	6,269.5	4,709.5	1,560.0	75.1%
4区					2.2	2.0	5,925.7	5,306.7	619.0	89.6%
6区					2.2	1.8	5,967.6	5,114.3	853.3	85.7%
平均	ゴールデンライト	播種5/22	定植6/5	収穫9/24	2.2	1.9	5,946.7	5,210.5	736.2	87.6%
5区					1.6	1.6	6,074.3	6,074.3	0.0	100.0%
7区					1.4	1.2	4,971.4	4,438.1	533.3	89.3%
平均	ストライプペポ	播種5/15	定植5/29	収穫9/24	1.5	1.4	5,522.9	5,256.2	266.7	95.2%

収量調査結果（子実粒数）

	10株当たり粒数			100粒重(g)
	製品(粒)	規格外(粒)	製品割合(%)	
ゴールデンライト①	4100	6319	39.4	15.78
ゴールデンライト②	3660	5666	39.2	19.02
ゴールデンライト③	3152	4705	40.1	17.42
ゴールデンライト④	2812	4311	39.5	17.15
ストライプペポ	4217	3229	56.6	22.66

収量調査結果（重量）

10株当たり規格外の要因（重複記入あり）

	10株当たり乾燥重量			10株当たり規格外の要因				
	製品(g)	規格外(g)	製品割合(%)	収穫個数	腐敗	発芽	もやし状	未熟
ゴールデンライト①	647.0	855.7	43.1	23	8	17	7	2
ゴールデンライト②	696.1	815.3	46.1	24	10	19	9	3
ゴールデンライト③	549.0	665.2	45.2	25	13	18	12	2
ゴールデンライト④	482.3	639.4	43.0	22	10	20	9	2
ストライプペポ	955.4	545.3	63.7	15	0	13	4	0

7 普及性

(1) 本試験は継続2年目。ゴールデンライトは、既存品種「ストライプペポ」と比較して収量性で劣っており、品質では腐敗果や発芽粒の発生が多い傾向があり普及性は低い。

(担当者：所長 清田雅明)